

平成23年度一般会計補正予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

水・大気環境課（内線：7206）

4目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
放射能調査	15,725	92,979	108,704	92,979				
トータルコスト	21,317	92,979	114,296	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.7人	0.0人	0.7人	放射能測定、測定結果とりまとめ、委託報告書作成、緊急モニタリングの実施				
工程表の政策目標（指標）	—							

1 事業の目的・概要

東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて、国はモニタリング調整会議から示された総合モニタリング計画に基づき第二次補正予算において環境放射能水準調査に係る全国の放射能調査体制を強化することとしており、県民の健康や安全・安心に応える「きめ細やかなモニタリング」を実施するため、国の委託を受けて放射線測定調査を強化する。

2 主な事業内容

放射線測定調査を強化するため、モニタリングポスト、ゲルマニウム半導体検出器等の測定機器を増設する。

【内訳】

（単位：台、千円）

機器	概要	既存台数	追加台数	金額
モニタリングポスト	固定設置し、24時間連続的に空間放射線量を測定する装置	1	5	64,000
ゲルマニウム半導体検出器	ヨウ素等の核種毎に放射能を分析する装置	1	1	25,532
サーベイメータ	可搬型で放射線を測定する装置	1	3	1,608
エアースンプラー	空気中のチリやホコリを収集する装置	1	3	1,839

【国のモニタリングポスト配置の考え方】

子どもの健康や国民の安全・安心に応えるため、地上から1mの高さを測定することを原則として、以下の場所を選定し、ポストを配置。

- ・原子力施設の立地場所からの距離が近い地点
- ・これまでの放射線測定において、周囲に比べて放射線量が高い場所
- ・子どもの健康を最優先に人が集まる場所を考慮

→ 具体的な設置場所については、上記を踏まえ、現在検討中

（備考：既設）

衛生環境研究所（湯梨浜町）、木地山（三朝町：危機管理局所管）

3 これまでの取組状況、改善点

- ・文部科学省からの委託により、全ベータ放射能調査、核種分析調査、空間線量調査等の環境放射能水準調査を実施。
- ・上記、設備配備を行うことにより、一層のモニタリング強化が図られる。